

上 25 mm
(掲載号ヘッダーまで 15mm)
下 25 mm
(頁番号フッターまで 15mm)
左右余白 18 mm

ヘッダーは記入する必要ありません。

英文要旨なし
(総説・技術ノート・災害報告)

砂防学会誌投稿原稿 - 刷り上がりイメージ -

Article of the Journal of Japan Society of Erosion Control Engineering: Template

タイトル(和)は、太ゴシック、サイズ 14 (サイズはすべてポイント)。
タイトル(英)は、Times か Times Roman, Times New Roman (以下、Times) サイズ 10.5。
固有名詞以外小文字。副題が必要な場合、和文は副題を全角ハイフンで囲み、英語は半角
コロン+半角スペースの後に副題を始める。

例(和) 題名 - 副題 - ; 例(英) Title: subtitle

砂防 太郎*
Taro SABO

著者名(和)は、明朝、太文字、サイズ 11。
著者名(英)は、Times, サイズ 9, 姓はすべて大文字。
災害報告など、共著者名が多くなり原稿頁の半分を占める
場合は、1行に5名ずつ記載する。

1. はじめに

このフォーマットは、砂防学会誌に投稿する場合に著者が刷り上がりイメージを把握し、図表等の大きさ(文字の見やすさ)と配置、
5 状態を知ってもらうためのものです。カメラレディー原稿を作成提出してもらった後、実際の印刷に当たっては、印刷会社が提出された電子データや原図等を編集して製版します。刷り上がりイメージはその際の見本として使用しますが、印刷段階でこのイメージと異なる(図表の位置が多少変更になるなど)こともあります。掲載決定後に印刷会社でレイアウトして、著者校正を行います。したがって、最終ページ数はその時に決定されることを了承して下さい。

原稿の作成にあたっては、「砂防学会誌投稿要領」および「砂防学会誌執筆要領」を確認して、適切な体裁の原稿の作成をお願いします。図・表・写真を含めた原稿を「刷り上がりイメージ」として作成して下さい。それを pdf に変換したものを電子メールに添付して提出して下さい。

2. 原稿体裁

刷り上がりイメージは A4 サイズ、余白上下 15 mm、左右 18mm とします。1 ページ目の表題等の構成は原稿種別毎に異なりますので、適切なテンプレートをご利用下さい。

論文・報文・研究ノートの原稿は次の構成とします。報文・技術ノートについては3), 4) は任意です。記載する場合は本テンプレートをご利用下さい。

- 1) 表題(英文併記)
- 2) 著者名・所属(英文併記、全著者を記載、代表者 e-mail)
- 3) 英文要旨
- 4) 英文キーワード(3~5 語程度)
- 5) 本文(和文または英文のいずれか)
- 6) 引用文献または参考文献

表題等の下に 3 行空白後、本文を始めて下さい。本文は 25 字の 2 段組とします。2 ページ目以降は 25 字×50 行×2 段組で、図(写真含む)・表は本文の適切な箇所にオブジェクトを挿入して下さい。原稿の刷り上りページ

40 数

論文・報文・研究ノートの原稿は、研究ノート・技術ノート: 4 ページ以内(超過ページを含めて最大 8 ページ)。投稿者が負担する費用については、「砂防学会誌投稿要領」でご確認下さい。このフォーマットは、砂防学会誌に投稿する場合に著者が刷り上がりイメージを把握し、図表等の大きさ(文字の見やすさ)と配置、超過ページの有無などおおよその状態を知ってもらうためのものです。カメラレディー原稿を作成提出してもらった後、実際の印刷に当たっては、印刷会社が提出された電子データや原図等を編集して製版します。刷り上がりイメージはその際の見本として使用しますが、印刷段階でこのイメージと異なる(図表の位置が多少変更になるなど)こともあります。掲載決定後に印刷会社でレイアウトして、著者校正を行います。したがって、最終ページ数はその時に決定されることを了承して下さい。

原稿の作成にあたっては、「砂防学会誌投稿要領」および「砂防学会誌執筆要領」を確認して、適切な体裁の原稿の作成をお願いします。図・表・写真を含めた原稿を「刷り上がりイメージ」として作成して下さい。それを pdf に変換したものを電子メールに添付して提出して下さい。

このフォーマットは、砂防学会誌に投稿する場合に著者が刷り上がりイメージを把握し、図表等の大きさ(文字の見やすさ)と配置、超過ページの有無などおおよその状態を知ってもらうためのものです。カメラレディー原稿を作成提出してもらった後、実際の印刷に当たっては、印刷会社が提出された電子データや原図等を編集して製版します。刷り上がりイメージはその際の見本として使用しますが、印刷段階でこのイメージと異なる(図表の位置が多少変更になるなど)こともあります。掲載決定後に印刷会社でレイアウトして、著者校正

70

75

1 ページ目のフッターには、著者所属(和文、英文(災害報告では不要))が入ります。複数の著者で投稿される場合にはフッター高さが変わることをご承知下さい。非会員は表記しない。フォント明朝、サイズ 8。

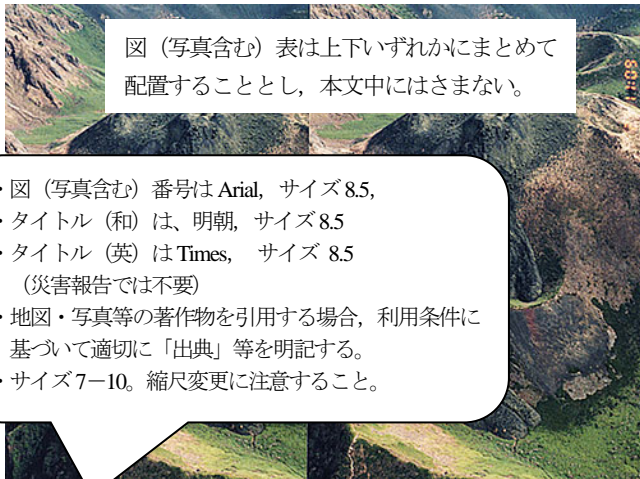
3. 本文の刷り上がりイメージ

2 ページ以降は本文，図表を適宜組み合わせ入力して下さい。

3.1 図表

5 図は著者が撮った写真や図表を古め、SI単位系を基本とします。

中・小見出し(節・項)の前は改行なしで続ける。数字は Arial, タイトルはゴシック、サイズ9。



図(写真含む)表は上下いずれかにまとめて配置することとし、本文中にはさまない。

- ・図(写真含む)番号は Arial, サイズ8.5,
- ・タイトル(和)は、明朝, サイズ8.5
- ・タイトル(英)は Times, サイズ 8.5 (災害報告では不要)
- ・地図・写真等の著作物を引用する場合、利用条件に基づいて適切に「出典」等を明記する。
- ・サイズ7-10。縮尺変更にご注意すること。

図-1 実体視できる溶岩流のイメージ
Fig. 1 Hypostatized image of lava flow

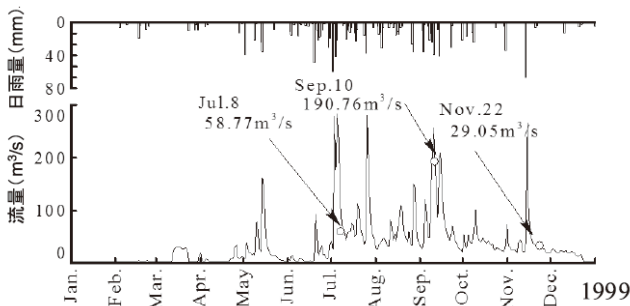


図-2 雨量と流量の関係¹⁾
Fig. 2 Relationship between rainfall and runoff

表-1 サンプル表
Table 1 Sample table

Directions	A	B	C	D	E	F	G	total
North	10	10	20	5	6	11	4	65
South	18	11	1	5	11	1	7	54
East	5	4	1	2	2	1	1	16
West	4	4	3	2	2	7	1	23

3.2 数式

数式の記入は、下のサンプルのように数式フォームを用いて下さい。1行に収まらない場合には、2行に分けて記入し、式番号は数式の直後から破線を引いて行末に示します。数式を本文中に記述する場合は、 $y = a/x$ などのように行内に収めて下さい。

$$\frac{\partial M}{\partial t} + \beta \frac{\partial}{\partial x}(uM) + \beta \frac{\partial}{\partial y}(vM) = -gh \frac{\partial H}{\partial x} - \frac{1}{\rho_T} \tau_{bx}$$

..... (1)

3.3 見出し、箇条書、句読点

本文中には次の見出し番号を付けて下さい。

- 第1順位(章) 1. 2. 3. ...
- 第2順位(節) 1.1 2.2 3.3 ...
- 第3順位(項) 1.1.1 1.1.2 1.1.3 ...
- 箇条書き 1) 2) 3) ...

見出しの後は改行し、全角1字空けて本文を書き始めます。なお、第1順位(章)の前は1行空けて下さい。

句読点は、カンマ(,)と丸(。)を用いて下さい。な

35 お、カッコなどには全角1字分を充てて下さい。

3.4 引用文献・参考文献

文献を引用する場合、引用文献方式と参考文献方式で形式が異なりますので注意して下さい。

3.4.1 引用文献方式の場合

本文中で例えば(菅田ら, 1978)と書き、末尾に次の日本語の場合「・, : -」等は全角、巻号頁の「./」等は半角。英語の場合、半角記号と半角スペースを用いる; 例)「: title, Vol.1, b : c」。web ページの引用の詳細は砂防学会誌執筆要領を参照して下さい。

図-2のタイトルのように参照箇所

45 末尾に次の形式で記載します。

1) 堀田紀文・厚井高志: 山地からの土砂流出の変遷の実態 - 流域の土砂貯留量の変化に着目して -, 砂防学会誌, Vol.63, No.5, p.52-61, 2011

- ・表タイトルは表の上に配置
- ・表番号は Arial, サイズ8.5,
- ・タイトル(和)は、明朝, サイズ8.5
- ・タイトル(英)は Times, サイズ 8.5 (災害報告では不要)
- ・サイズ7-10。縮尺変更にご注意すること。